寧次

【東京電話】陸軍省發表=今次事件責任者二分並にこれに伴ふ異動は左の如く發令された 、異動發表さる

發表本部的 發展上將 中島今朝吾 韓軍出將 中島今朝吾

橋本虎之助

退に伴ふ後には軍七動脚長宇庇美、相侍立の上侍佐立宮長の継術式を「従用位動二等功門級「集成治語」本席特能は職長の献、十分高中別歌の間に出碑、返田直「せられた」 字佐美中將を拔擢

法相抱負を披瀝

天皇院下には、十三日子後、辟三 り左の武皇を撃け、陛下人命あら 第七副開展と昭和より上奏御越道を押いて祖来、英中者に謝師の勅討を賜ら首相よ「補法法定武官長

甲暦を起用することに狭し、部内 行はせられ、師即に登迦した字佐

ることに決点し、星族方を除さる。

經濟對策を協

「首相は廿三日を期して全国二十一〇ローマ世二日间盟」ムフソリー

實施を飲納し挑跋に對する至南時以後における組合組織及び機能の 特に総獣の對イタリー制裁貨施料の資格において見しく節級を主

各道高等課長會議

チオピア遺産

で り、観評として新原社の削立平備 を設備を近く被ける、五段の前層

た見込みである。

部調各方面の挪威を網鑑して調査部購房において順量を盟を掘り内側を選を開けた。

委員の顔ぶれ

のがあるがそれは部内一致協力に よつて はじめて 果し得る もので として協議を辿めた、な任本館











とそれを揮り下る

773

法敵 篇

他の動形を探るために、吉水瀬野 16 (0 作 100

東京 Onthing

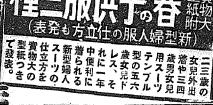
の奴らをあざむく買の手段にやつ 「たれが、壁や手段に、頭を削る はついきのよ、上人 NATE OF THE PROPERTY OF THE PR

十年も先に死 を生れぞこな んやかな心持 感へてみる

にこの歌びをお 亡、兄妹もな

だる

俚二版洪丁。春 編 (表発も方立仕の服人婦型新) 東京名物の美味したので大人類。



主義を打破

鋭意内政革新を期す潮内相

穂低質鏡策策原設の「最充など、その具體的「関戦勝立に者々、農育を目然に内勢行戦関係の改革、地方制度の関係、東重集動脈に各を目然に内勢行戦関係の改革、地方制度の関係、東重集動脈に各て「東京電話」内域革

てやつて来たの

別に工業審議會新設

コピア政府の職器提訴を他所に、

伊空軍爆彈

、六月頃第一回開催

輸出工業の促進・で生みとしてあるが、さら鮮内に包装する資館の工業化・で生みとしてあるが、さら

かのおや松虫、 んな事で、

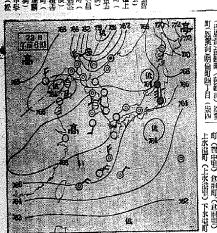
翻起となって、 人も話しめて何

避機から意見を開からなどと思は「待て、ば、ばかつ。――おれば

て、駅口をたらくれを生れたらせて から、人を呪咀 ろ。 適い単はし こべに吉水瀬房 は吉水へ忍び込

ing.





| 忠南北||西の風 全般大氣 だ師め があるは しなすり はさり

| 南西乃 始めは後り 盛りたたり

ウチイ

(今晩) 優かっ (今晩) 個四二 (今晩) 個四二

管を対象の がヨー・ダニエル がコー・ダニエル が 単層 原

E H e E

瑞世年

女の一十十リン事で城所本町二丁目三九

rija

京町 城

四五歳はの男の御死版が歌

サスの風景 × TYXI

嫁歌」君そ 175 デュール・イゼ・ヴァルカー マルタ・エガルト マルタ・エガルト ランク

> 銀金

町塀標區若下市京東 商 石 陥

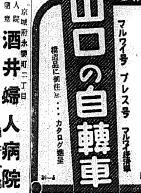
晋八八六 京 東 晋 振 (クフシイウケウト) 設路 審九五九〇國 審二九九〇 電五八二〇 電八八〇〇 平 所張出 府 堰 町 旭



安曲







b

進

曲

普伊豆松

行縣

式水防部轉廻全 はじめて真價のわかる風の日の御通學に 御卒業までの耐久力!一臺で 防水式自轉車 都實販場工用轉自口山

ばト 曲 Ξ

Ŀ 學聯

7,中旬 9 ,中旬

2,全鲜型生大商

小

自子

15,全鲜男子•女子•老魔大震

19,全日本學生軍招聘

神宮既技 4,第一回解兩對抗

16,實樂團·學生對抗 17,全國學生開抗派遣 18,全鮮男子·女子老童大會2,中旬

1 , 全鮮固定路選手權 5,31 , 第三回フォブスカル選手權 6,14

1,全館大學專門

10, 4

府營ナー

道

球

球

球

京城中等公民學

京城本町二丁目

(階付报) 2 発砂 場の部 ま

出頭 店家

千ヶ解 化い解ドマンチ子江ン

^{亦一}院

ジなり ナ崖

出

東京

車は壁の

久 淳 區 久き 健 丸 かんなど とせ渡り 大男代兄 男代 『見』子兄 七兄男子 二 丸 化菌鉄

伊豆伏岛伏亚贵松 尹二 雨

心なき農民にふみにじられた

で記却されいそのため平寛大同哲

興味津々たる日清戦役の遺物も展觀

小泉館長の新抱負を盛

のを遺憾に思い平勝時物館は不順

は同年八月間二十日間にわたつて一 地を調査し度に小棋策吸研究所長 細時代を思はすものがあるので、

温客を偲ぶ

は親分を溢れさせて知事、府尹、

に買いて土留所式の追悼の群があ ら小學校器堂に皆民合同の大追悼

二十二日本葬執行の當日

各地追悼會の盛儀

町長の手によつて酸地された石酸|世界層位文化史上に影響すべき。 悔の驚くべき進歩と解入れ(案表) |百十||競本||境は本部人口の||大彩見をもたらした、園腔土は衣 が用ひられてゐたといふ新事質が

尿大清野博士が驚嘆すべき新發見

光彩放つ漢代風俗



名第中のところ、

最近話が具

【兩興】十九日夕刻咸州郡州北西

魚取りの

四月半の間にタッタお客二人

南浦遊廓 から 姿消す

死體を総見して所襲駐屯所に解け、町一、五四〇吉田ニキュをは昨年)

のきれてゐたが本人も相當くさつ。流逝に降人り、土場語是無株地をてゐた機様で去る二十日午後二時「宜」、この間間事者則は台級はといるた機様で去る二十日午後二時「宜」、この間間事者則は奇級は自然には、「一

から鞍塔して来たが母来四ヶ月半

総合などいい泥酔し進中行の列出 の懸重が耳に入らなかつたものら があった。右は截壁御長藤祠崔東

一般人に観覚せしめることにした過化し江西古遺師標の設備をして 鮮明に残つてある武重なものであ

ただけ職場の至耳も摂かならず緊

教行する敵思であるが、既在の「事實にもとづく鑑異問を取つて念」與明り提案された僕家豪通りこれを と 足階理事官の經験を育するだけ、内質的粉來附理專着は瓊原執行にあた。

釜山府會またもや大混亂

の質問があつて依証、午後二時半一行及府手の事秩と府僧の決議艦に

関する不信を鳴らせば語場はXも | 午前四時頃大周江岸通りを材木を行及店手の墓鉄と所曾の狭誠能に | | 材木 沢 棒 【半編】廿二日 八圓餘を媼奪逃走した、江景署で、突きつけて家人を斡追し、賣上金

教育部會

は日真地に がて亡父のため 宮際湖の電報がよせられた 【開播】 府第一部教育部館は十九

送は、十二日年前十一時半から試「に続行された、この日土命気事は「し正面式基気」には故内所の談話「であつた」を出 | 故郷勝乃所を思う起憾 | 武舎賦王賦のもとに公翻堂で厳鑑| 下七百名に送する道説有志が暴興 | 夢があつ-

度があつたが器質者数百名で脈ば

金泉廿二日午前十時半県校

列者多数で盛屋であった

邑では廿二日午的十時

きで官民多数参列のもとに執行

廿二日午後二時品町山

番五八四話電

社會媒庫倉穀米鮮朝 店支川仁

目丁三町本川仁

町花川仁

社會式株產物武力 門衛左黑武力 疑

ちにこれを稼むすると共に嚴重な配競技と診断された、質局では直 令が開病の部生は近年稀有のこと **消後、保証者の後出等を行つてゐ** | 連日取調で中のところ第一回度分・全部で調金額は千個突破を重然さしたが、その皆時収入に関しては羅漱繋で、直三十個の調金を即決院分したが、そのけた「を大き」と対象のでは、長期の調金を即決院分したが、そのけた「を大き」と対象の心質は、「という」というには、「というには、「という」というには、「これ」というには、「いう」というには、「いう」というには、「これ」というには、「いう」というには、「いう」というには、「いう」というには、「いう」というには、「いう」というには、「いう」というには、「いう」というには、「いう」というには、「いう」というには、「いう」というには、「いう」というには、「いう」というには、「いう」というには、「いう」というには、「いう」というには、「いっ」というには、「いう」というには、「いう」というには、「いう」というには、「いう」というには、「いう」というには、「いう」というには、「いう」というには、「いう」というには、「いう」というには、「いう」というには、「いっ」というには、「いっ」というには、「いう」というには、これらいっしい。」というには、これらいいっしい。」というには、これらいいっしいいいっしい。」というには、これらいいは、これらいいいっしいっしい。」というには、これらいいっしいっしい。」というには、これらいっしい。」というには、これらいいっしいっしいいっしい。 四十餘名の罰金額

、さん(三)は一ヶ月壁町から病

千圓突破を豫想

【銃器州】そむく春のナンバーリ 人妻自殺 精神に異狀

数を遂げた、同人はかねて病例な 遂に王子堅心行きの諸切で極道自 留一丁目大種頂一郎氏婆マシ子 ン廿二日午前四時半ごろ新義州軍 ころからお稻荷さんに参詣して

との交渉の内容につき証明があり、別事に機投された思確の関係人男・「との交渉の内容につき証明があり、別事に機投された思確の関係人男・「との交渉の内容につき証明があり、別事に機投された思確の関係人男 [平理] 廿一日午後七時三十分的

酔拂ひ往生

米白出輸川仁

Zonovanavrovanavrovanavonavanavro

春に魁けて贈るոոの豪華な美と健康と趣味の夕

於……

なづ健康を獲得し

性美を磨け 質様にお薦めしたい

美容體操色々

数年間に女性には女性のための

連作りいると

64

など側壁を握じ易い環境に置かれてあたことが、 等へられるやうになつて夢りました。更のやうに不合理極まるものとして疑面目に 0 O

奥へられたとしても、果してそれ、赤い間般党を重ねたのでしたが、しも男性と前様の連動の機動が、つの厳酷を一致させるために窓分物有の生理的膨脹と検性があつて、はねばなりません。長気はこの二 5をかり、一面また女際には女し、が質行出来るかどうかな遊戲といしかし、一面また女際には女し、が質行出来るかどうかな遊戲とい

0

中は凡て力

何でもよいから一つの

味た、お空でも所供をやれば空味だ、お空でも所供をやれば空

で双二年間優勝リーが戦をやる名人として置き、更に一年悩ん

のだから、結局その時に貸けれ

専門を

ばいけない 持たなけれ

人生觀、哲學、策勝、西案宣傳

手一手の魔化の中には科心、

棋盤に見る人生觀と商業道德

僕は選手權制に賛成

かからにか一人前の話しが出機のやらに無駄ならのがどうに

父僕の若へでは將棋郡日本の國等を凡ゆるものが入つてゐる、

運動の機関に基まれることが少く、彼らにお炊事や政策大であるか、それなのにこれまでの女性の生活が呼外の なるべき脚型な天腰を持つ女性にとつて健康がい論に重

な運動法がなければならないこと にそへつきまして、苦心の結果や ことになりすした『美容虚學』

5、系統的なものではあるけれど 4 女性に適したリズミカルなもの る一つの循環だけを行つても弥 かけながら、前様よく行へる も、自分の契容目的に依つる で、強いフルツのレコードでも

一般師の提所を製せず、お民間でこの都操の職員とするところは 世動具も服装もいらず、バデヤ も、擬形でも、どこでも行へて

展別に完くられてきた問題です。第二の國民の母と

女性の正星を考慮に入れての過當

3號令をかける人もいらず、自分

いたいと信じます 選邦ともこの美容閣様を創研究期一 金身に漲る健康変を作るために、 を治す運動で記しておきませらっ したいのですが獣血が許しません つだけ「中年の脂肪太り

慣れた人は次に配脚を揃へて、

です。この運動の全貌を飼紹介申

二、微池は感染後三週間より八九を知らざる有標となる 關せず倫理は益々地強して止まる

を得たりと密かに歌び、廣酷の著

内部助は、これを聞くと我が意

中年の脂肪太りを治す連動(ア じやうに顕微させます。既に迎る

野 さ。配後の二つの場合はいつも呼吸はゆるやかに圏が一つ治疗する 一類に一回呼吸するのです。 一切があるがに圏が一つ治疗する ますと、病臓を組み合せて行いま

果を逃げる。例へば帰りす の人は複せるための運動だけ行 にし消化機能を気めるに良い運りを行して、下腹部の内臓を歯 、所劃流線型の酸場の美しさを ります、中年期によく見る脂肪 [間]

きもの出来る由、このできも、強命は二、三温面目に隔部に

出来ない

く従って個なくも必ずしも気心は

間やズ全治後薩症を確する

あり、

急く表れざる事もあるら!

金田にしてサズ全治 (17) 窓楽せる局部に病的地化を出

しても整定なるため認められり事

社報日城京 催主

ルミー美容置達の第六)

質問致可候

本会身を関すものなり、故に勿論の金治しても関係は決して発治せ

係発可能である。 第二期は尤も野

りやりやりないのよのと判断して可ない。三祖前後局部に支れざるは、 の全治後は相手に傳染するもの 協部に表れるものなりや、倫理権に関連したる者は全部最

あり、第四病の如きは局部的損傷的あつた積症が化塵的肥大する事 営出来ません。個が全治しても以 一、軟性下疳としては除り早く したらしいが、何か明瞭には断 (答) 瀨戸病院長 はいる。 はい。 はいる。 といる。 はいる。 と。 と。 は、 は、 は、 は、 は、 と。 は、 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と 酒井病院長

ベットの上で行ふのがいくで

マンの配液検査をして細胞なさい 特種の風困はありませんワッセル か配當の金がある低に、数湯三味 ひ被つた。主人の戦を討つどころ をして世を送るに相違ない。

は極めて小さく注意せられねにも

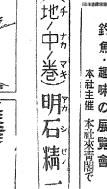
一期のでは、そのにて之が変して来む(芳山町原野方内谷生)一期のでは、そのにて之が変した。「木田町方面で深入下宮が出来ます。」というない。というないでは、「木田町方面で深入下宮田町の後晩楽した路所に経いるの び歩き、時としては、頼まれて第一

が出来ます、之即初別種結交は第一 週間の後標準した箇所に堅いもの

本社主催・ 展覽會

魚

三月廿五日から廿九日まで





年既る脱胞間にて見ました。 此人の割も高も見事である。先

許へ事の由を辞報した。

る時は京都の特章に消磨して個議し地へ出展或させ候につき、駅かも 施右門と云ふものを開散として細られる干坂兵部の謎らひに依り湿 御山脈御無用に候云々」 一、此度上杉家の臣にて智禄者 大石はそれを接続すると

適白しと、以前に増して放蕩三昧 を晒し、細身の大小を差し、 上り推選致した黒の五り彼の羽織 先づ雑憾様の衣製、基上へ亡君 **次石は、さてこそ王坂の計らひ**

上、皮砂ないこ 「委組畏まりました」 と選事をする。今度は

て永住の構へをなし、目となく夜 圧止しく四級助が深虚意識であら 共手は全はれと言を飲めず、これ こなく遊談に眺り居るとの沙汰を ・共上、版雅なる邸宅を建築し のは他かに四局と言ふ使官の酷性年職つた四十二局の中資けた 志を、三十二歳の若々しい温顔 に登して明らかに笑ふ氏から、「診察した慇懃の用心は厳しく、共志を、三十二般の若々しい温顔、共後、梟淑孺内から本所松坂町へ 年能ヶ月かの後には聴す難つと云ふ策士が、常に吉良家に出入 奥田孫太夫が段々続子を聞ふと、 を探察数し居る機関十郎左衛門、 然るに江戸に居つて吉良の物館

上、親領の上杉家の老臣干坂兵部 りして、萬事上對介の世話をいた

名 人

五労し微けたお父さんを摂る事 と四人の第駄の成青を見る事が

輝して開根名人の門を明くやう その頃から將供の天主張りを避

汚省の給仕になった

を

出る原作は六段・二十一蹴の者

十二の時度をごつ

調したが、川降に受けた動動が の大震災で元の下ン底生活に宣

来の歴史を

いぢゃないか、人間の實力は自

でもパッケ型い事にプロ門を辿つてゐるからた。

るのじやないだららか。

近頃は

は生かし敗は街でよれての個

を漫楽して異れる風い新進をもならないのだから結高我々れらないのだから結高我々棋は自分だけが強いのでは同様は自分だけが強いのでは同

この関力能とでも言ふか改

性を無重しながら膀胱を挟する

がら、その飛艇よりも一兵のフ 民性にピッタリとしてゐるもの

主とり飛収を可愛

地から言へばこの方がよいと使

から三段迄のものを棋道攻輌の五在日本將棋聯盟では六級

もあるだらうが、棋道向上の見 践に下る事になる、色々の見方 ほ三年間だけの名人で交元の八

新棋の手を開用して物跡して行

れは結局スポーツで

観別を由るな風に見ているが、

一先節のドサクサで世間では が

結局令迄の名人間を隣して新た

は選手が観としたまでだ。之は

人の家は祖父の代までは

ある十八の瞬には評価の収入で響通なら中華生の生意声盛りで

近所では「親茎行の所供さし」 断く一家が息づくやうになって

と確された、所が十九の時、例

分交貨店記は將棋の名人店設に

一台の若い品は陰に題つて張遠 してまで昇回したがるが一

るっ、と言ふのは職業に**埋**がこ

北海森が一般大気、外に回接第の事を接触して行くのたる、原

敗の回帰的

年間に亘つて仮磨リーが戦をや

要求であつて、八段のものが二 實力主義發現

つて、その知識で世の中の第二

人間は住甲斐があり面白喉があ 分が供めるんでなくて人が決め あつても八段に勝てばそれで好

過去の苦悩は全然圏み取れない

げ労める程力ん/ 「奥深い興 つて来た、質際將派は究めれ て勝模が非常に六ツケ敦くな が出来て来 てるる。又より多く生み出す事に苦心し 次々に新手 何上りの楽しみださずだ

人氣千兩訪問 木村 義雄さん 「東京支献より」

それから來源一同は愉快に過を 間諜を欺く手段 大石遊興篇

「関」二十五歳の女三回目の紙

舌がさける

探り、それを、《手明へ景形」で へ参り云石に近づいて彼の胎婆を

「元石と子子人物は見機した。買 及はすながら大石の本心を探り 「御見立に預かり有難く存する

次に無刀でブラリーへと四方を謎|腕通りの近江軍と云ふ版館に投稿 も云ふべき五百雨を関へて動 大となく御通知住るでござらうか し、東海道を經て京都に入り、 御意考に供するの

來ないから、是非共石廠を は元分に之を清単にするこ 石鹸は不可か? 皮膚を水交は濃で洗ったとけで

れたが、大れ帯窓手動の動ったも脈躍、過脂化酸なるものも試みら として脂肪を発分に加へて造った 新職選に中性の石織を得よう

防酸と化合して石酸となった後で 皮膚から脂が出過ぎる時に、例外 場合例へは脂腫という皮質例で、 々皮膚を刺散して、紫を興へるかいふ。所様な石鹸を使用すると他 えると、之をアルカリ石圏と操音士のアルカリが実術に繋 る。原命、中性 合いっとに又

の固形石鹼でも其中へ温和した材 た東が沿ります。鄴しく中州合助も脱科の都遊が交非常に大助 さへある。」 く、却つて皮膚 必しも無害で 理曲は皮術域のある肺、石臓を更の使服は能器、法意を襲する。其 一石し皮質に病気がある時は石敷

ると、客はあつても益のないもの

適つた参べに陥らされて居ないでもので有りながら、死もすると問 **町明代な『石鹼』の解説がありま** 皮質器の機能選出歌三般士に歌 きアルカリとして 日用品で離れしも使って居る れば間違いなし 是だけ知つて居

などに用ふもので最も緩和、無利

か一などゝ共に醫療形に供すべきであったから、影響の仕服には歩らない

300

性と云つても期々安心は出来な いのであります。

節はよお説を一層余骸化したか 総解説に置りに眺を加へた事を以上配にして要を使た博士の石

つたからに他なりません。

大變結構 石鹼の常用

で其作用最も緩和且つ無利威で

不可のがある 「日戦の後期後は一部校上」とは職人であるが、常用とは「政をを調査した」であるが、常用とは「政を重要にいかして、必要をが続けるのである。 組織の方が必ばよりも呼ばい かいものとしてある。 皮膚に称いているとしてある。 世優を誘躍にする為に、石鉞を常 光物を取除さ、変面に在る主題不 り下さいまして有難う存じまた日はお敷の多い中をお送

良品に驚く 能書通りの

ります。

常用は危険 薬用石鹼の した。〇〇文は〇〇〇のクリーム自然は第二月はそれ程でもありませんが、高順にはないにおき、自然的けましたならにおき、自然的けましたと言っても変数とした。たった。若耳に心せわしまが起い。 リーム的がは、心ぜわしき微 の一寸のたしなみに便よりと お店の指標方の實心旁のたま 物とお食が単江する。 うに感じの良いのに、能激は 地からのやうに附き、ほんと をやうにも見えず、ぼつと生 個の苦もなくむらもなく前けしよい説ががけて見ましたら お、サーマのどの品も殊にク 思ひ手出し仕なかった事を形あてにならないと失聴な事を ならないと失聴な事を

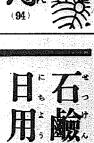
ました心だけの御職名 (名古屋市西區 佐藤林子)

お事の多い中をお手敷かけ

存じます。 が設揮する事は出來ますまいかと 射だしなみの宜しい御婦人は、

此類民國では生老を一杯人、彼のかられません皆かとがします。 はと親にする人もあるさうで、 宮村松 江镀 でこそ我態質的の機能の美、娘印な事は単十迄も無いわけで、それ

関連よりズット少能で充分です。 次くも生々したお供称が出来ます ですった。それこそ過くも ン も間のサーワ自然のやうな、「し」うでございます。 自しろ無難無路 住旅の紙で、民全ではチタニウム といいので、、 に経識のやるがもありますが、それは呼歌の 好きるお他能ができる無使目前たお化能ができる無使目前たった。 も云への生き上げへの出る自称が一で新んないく自称が出来たのはホ ソトに結構な事でございます。





一彌畵

配許を述べて殴つた。まて、この 飲み、吸は嗅む、自出度い!~と

選る。 - 然るこ、上手をご言いたとした。 - 然るこ、上手をご言いた。 - を関っては、やたら何か問いては「徘徊して大石の行動に目を貼る、 いたし、これより日毎山科耐近を 美容上、 「本文は絶てカッコの門」

果して

んでめないという事である。 錐って酸の型に膨離したアルカリを含っ 常の仕用に選するのである。 なければならない。世には整容上 (があるが、 其他に別に何等の根 がある驟ではないから、若!

ッワ石壁である事に、御正常を 和なる中性間形で戦の好滅例は 因みに、弦に所謂作用の最も数 を運営して居るのであり

使ふ石鹼 化粧料に

脂肪交は脂肪油とアルカリとを准 せて煮沸すると、グリセリン 化合物であつて、天然に産する 元來石館は脂肪酸とアルカリと 脂肪酸とアルカリとが化合

て石織が出來上るのである。

關西新派劇

際目派といふるのは西洋には無 四洋には無い煉白粉

んだとか聞いて居りますが、成程くて、日本や中華民國だけに有る

いませう。

一門の右衛門、甲に登れ上」 何處へゆくのやら割られが

を常てるだけの 到底紫白粉の味

> 心が纏つても少しも形でならず、れたり難しませんのです。そして 宜しいので、元や脂に崩れたり乱 そして不思議な精も化粧保もが

粉の化粧美に借られる大第でこざ 磯としては先づ徹がな地脈が必要」ら、全く良い自然が出来たものだ なかったもので、良いお代報の差 取ってずへが増す他のものですか少ぐとも貫から生まを生気では唐 晩が細っても少しも薄くならず、 と存じて関ります。 の間形自称というので、矢根集や して作りましたのが語り悪魔術を サーマの間塊を更に間めて乾か

思ってると無理跡では生をした | 関連などと同様白と肌色とがあり

医泰斯马斯里大亚胡克 植本

BIR

4€

王子製紙で經營

東大暴落

◎北鮮新潟連絡船

電射維承船頭出城 高:(整部)

雅·六三儿雅· 大三儿雅· 大三儿雅·

保合で推移す

米凭れの懸念濃化

米米が桐安に出て野されたをできまして居る。



下級吏員の待遇改善 官學偏重の打破 鼎内相らに 要求提示

外務異動顏觸 リスには外科候補の噂があつた。針で二十四日の密記により、気には外科候補の噂があつた。針の三ととなつてあるが、繋記書田徳氏(元既仲大使)を適所。これることとなつてあるが、繋記書田徳氏(元既仲大使)を適所。これることとなつてあるが、繋記書田徳氏(元既仲大使)を適所。これることとなつてあるが、繋記書田徳氏(元既仲大使)を適所。こととなってあるが、撃記程の中があった。針が表々とは

ものあり、阪田兼路外租は地内閣 新國防安全感の確立

れが人選を考慮中であるが適 海軍の總意

エート職形)正番小路(ドイフ) 誰を鯉立すべきとを力説實現に短 國民生活を採追せずる機類財源計 生活を採追せざる機筋性

廿四日の閣議で

山本条太郎氏重態

[東京電話] 海道語度調查層第二

長谷川天官を通じて掲載に反應す一等分科官は可上組連局長がその低一に協力機能

常ったの連に戯称官を決定する方(東京電話)戦府は戦戦の遂行に

ドイツは 降服せ

自の頭示型百左の如し に変数形を盤支

九萬壩で日米南國間のみを見れば アメリカ約廿七集曜、イギリス州

海上機防の元質温化を要求し、

と合せて球式市場はじめ歴界一

自分の税制整理に関する

増税の具體的内容は

議會制度廢止 伊首相の宣言

路に出路、左の如く数法大敗正、総官制度廃止に闘する重大宣言を《ローマニ十三日信述』ムッソリーニ申首出は二十三日職業代表的

神は右曹兄後四月四日上海出産の

れることは明白であり、が野海朝、二分科師長には翌山軍が局長、第6足を踏み入れ総院臨線部が行は、三分科師を設けて、政策、職革の 二分科會々長

各藤実高橋是清傳流話で話る面

いも明れないがいより拾ひ上げられる見翻祭理案の中 工述べたの

▽戀愛萬華鏡・平塚雷鳥も若•燕▽鰤鱧 蝮のおふみ就縛 顕末 海賊情炎・村上 水 軍 秘 帖 関 瀬 郷 野 龍王・森 『 過 刊

際の女義界の明星 豊竹呂昇

日のところ十一突然大威大臣に なる以前から

と總統遊説

氏告別式 半から同五時まで

20

悶煩士迷 談 相

逸科二 鐵半

へ氏書の書類制速たしま出が駅舎配车周五浦門園のねかち侍お★ すまみてつ泊がれ切資

2 2 2 3 3 3

雑

こんな事がある。

れないが皮々跳りかと倒むかも用 で有名な古正山

も出てゐる▲今は に固が吹き捲くり 開え血何處から 世紀ヨリチャーーの大僧正も出 屋敷の上人中か

整の足迹が取る が加にされてる。 北の星数は央国国 いの国数の正確を 回ロンドン大學 けでも身の毛が 山を顕真から本 の機様を手に取 ▲ロンドンBB 々の怪事が起り 點点するやう 高橋お傳 | 大|| 表|| 表|| にがける際明度| 便出獄中。 爱能教 代の高端お側にも無情はあつ





異動(着き)

兵器本廠附被仰付 壁電片 今井

野職軍婦共第三版閣長 可製链数等學校長

一変物した大使館附近官職谷中将は

通關東東参謀長 陸東少將 板垣征四部

相野戦軍砲兵第二武陽長 野獣砲兵第八部長 東木 崇明 同一二章 突木 崇明 加参謀本部第一部長 步兵第十五屆爾長

植步兵第十五原趨長任陸軍少將

|東京北部||天泉昨下には

増進と冗野の節約を踊り海上飛翻

今度命に海軍制度調査回去被

将が任命され、委員には島田軍令

項の要求を提示、省百階系の

見、省内二十の下級出版の構派を

回會議を開

の國政一新と併行

は即からあつたが、下級国気は早 配になるばかりで常に物館で不平

殿が湖内相と湯瀬天宮に西部、ロー手が上り二十三百年後一時、一届

中戦節度の人事移前に闘する鳴びになる迄十年もかくる有様で有内

軍制度調査會を新設

後の海軍無條約下に生品を整想さ、家によつて急速に建整を置施しつめつつあるが、それは「九三七年」脱紀デメリカは、例のヴィンソン 管照はあだしく劣勢とは見えれが

THE STATE OF THE S

ネグラル 道軌無頃近 罪 犯 姓島 廣 を記載する するか

高杉早苗區

六ミリは進

規則に殴す。定更はこれ陛下の覧「新覧正著」の歴生す。 憂るべき の語あり、簡単と解語に立つや 映畵利用の教授法と

その經濟上の諸問題

窓相大臣の怪吏にあらざるなり。官吏はこれ魔家國民の官吏なり、

目史の遺は古今を貫通して襲るこ

す、ところで指へこせられるのはその教育教養他の問題、現在では、疾語は非教育的だからせら、それは疾語であると、がく、疾語の持つ魅力の協立語さには能療すべきものがありませる。それは疾語であると、から、疾語の持つ魅力の協立語されたら、能しも思密に答へるで何か今日の郡手子女の心を最も高く吸い路せて居るかときかれたら、能しも思密に答へるで 教育者間の常識となつて居ます、次に映画教育の實際語識に富んで居られる東京党容益等小 といつて避けようとする態度より、むしろ發極的にそれを實際教育に利用するといふ態度が

はなった。 11・10 ほどうになっていました。 では、できたは、できたがつて罪の教師なものが多い。 小型校の短期間ではとても不可能に続けてし、昨日の頭腦と引く今(はなくなりました、各小型校では、したがつて非効が的なものが多い。 小型校の短期間ではとても不可能に続けてし、昨日の頭腦と引く今(はなくなりました、各小型校では、したがつて非効が的なものばかり。 いん芸術問の説が、夏越などは、す、今日の頭腦を見て明日に思す。にかく、今寒寒鬱が持つて居ら数。 除いては興味本心のものばかり。 いん芸術問の観察。夏越などは、す、今日の頭腦を見て明日に思す。にかく、今寒寒鬱が持つて居ら数。 除いては興味本心のものばかり。 いん芸術問の観察。夏越などは、す、今日の頭腦を見て明日に思す。 臘を以て今日に處すれば則ち深る。利比してをり、東京などは、これ。ですけれど、スタンダードの髪獅(ほり腳くほどのおづかな時間の中日に属すれば則ち終く、明日の頭(曖昧の教験能價値を認識して躓き。が利用されば、肺に文句がないの。に記楽としてまとめれば、文字ど ◆日は今日を見て緊張すべし。 鼠 を利服してゐない小學校は痛にし、映画の多くは、小學校の是童にと が解析ではついて至々する時代でしたようと思うといったと、現 へば随続の選択、資源などは、 にかく、今運転部が持つて居る数 飲いては興味本屋のものはかり、 いる異時間の要疑、資源などは、 たかく、今運転部が持つて居る数 飲いては興味本屋のものはかり、 いる異時間の要疑、資源などは、 をの数が轉つて居る場合です。と では、駅が映画と数打つたものを メラにおさめるのであつて、から にかく、今運転部が持つて居ると、と では、駅が映画と数打つたものを メラにおさめるのであつて、から にかく、今運転部が持つて居ると、 と では、駅が映画と数打つたものを メラにおさめるのであつて、から にかり、 こと、 現 へば随続の選時からはじめて継事と からに起って、 こと、 現 へば随続の選時からはじめて継事と 形近、文都省でも、映画を数音の一來ます、配鹵に先づやつて來る當一肚のたことから始まつて出ます、

必要なるは日々に新なるにあり、

時と共に推移するにあり。 昨日の

體系を立てくかららないと、唯典一大ミリ映画を採用することになり いやしくもそれが教部の一部であ、教育の實際用としては、自然、ス ます、十六ミリが近のやらに利用 タンダードを避けることになり十 かういる。単個から、 まりその映画の利用方面などを製ってある日本人ならば、誰でも一味 も配單につくられ、學校の先生な

を描いた映画の利用といふことも る限り、はじめからちゃんとした。

しかし、此のやうに盛況」ません

げてゐる――真真は示可影刺家ニルズ・ワイド氏の微質した皓下の鑑賞とテニス師究の悲劇の二大名称として全地人が調整の申上る田である、皓下の平底師な師行動は有名なもので、恋邇の新管エドワード人計断了と無に耐識の二大名称として全地人が調整の申上る田である。皓下の平底師な師行動は有名なものであらせれてゐる――真真は示可影刺家ニルズ・ワイド氏の微質した皓下の鑑賞され、熊宗に於ける師殿師は田本側見事なものであらせれ 御平民的なスウ 工 デ ン皇帝 ン皇帝グスタフ陛下には、御高聞にもからはら

がは日々に確認するにあり、

小提製館、様に釘式磁度的を具

僧館のないものを避け、前述の配 きまないとすれば、一日いくらなわけで、記録集論は、なるべく 炭酸購入が出来ます、若しその既なわけで、記録集論は、なるべく 炭酸購入が出来ます。若しその既なりを明れば、一日いくない。 という こうしゅう かかり かいまい しゅうじょう しゅうじょう しゅうじょう しゅうじょう しゅうじょう しゅうじょう かいまい しゅうじょう しゅうじょう しゅうじょう しゅうじょう かいまい しゅうじょう しゅうじょう 年後には大した利用價値がなくた 年後には大した利用資質がなくなるから高値なことが苦痼になるのこのやらな記跡映画は、二年後三一寸、一段で海出してしまはうとす 物の例のやうな、學校では軽差質」月いくらで質してくれる商店も元 ってしまひます、現在の定量だち 分にあります 座しますが、此路に再び延躙があ

出さないのは大へん単法な態度で スタンダードなど足もとに及びまが、高値だからといつて全然手を ドとは鑑らず、明るさに従いては 生生が十六ミリのフィルムで数

でいわけではありません、それは歌ーサいといふことです、それは、歌色 版に最も死く世かられてゐるもの ンダートの三五ミラあたりに低べ ると凡そ十分の一位で買へます、

そっこて 整意要離は要故 ますから、だとひどんな関で影響

元分連絡を保つゆくちゝ撮影して一 東西長壽者物語 ュ國では百歳以上が六千人 日本の二百人は心細 ですけれど、奥技励とか無とかを、産業が表だよく研究されてあな、配位にして、整百技あるひは数十 いといふことです、それは、現在の大力規能に使服することにすれば、ある鍛音はスタンダードを感覚になるが規能に使服することにすれば、ある鍛音はスタンダードを感覚になる。 十六ミリ

の語を知つ一ろはホルモンや××帰址那等のセ 分と人気を煽り御を人の群に明助 まれてゐるので、突張直談以上の部勢が駆れて不ぞ長群の方法も強」小属であるが、天然的部隊地に感 部類が現れて不老長器の方法も適一 日本の百歳以上の長を示してゐる。これ等の簡々には 人生は百五十年か

れた五十年の序世であつても生き。置着は現に二百人ほどある。だが一巻らく「人生五十年」の語などは 日本は健康國としては決して誇れ一作るにも作れない事だらう

本で、人口地頭でのように、人口地頭でのようには、人口地頭でのようには、人口地頭でのようにはいます。 はい こことが要素アマホン氏は動 上代の天皇の御賞薔薇国なるユーゴーステビヤは繊維 年』を整照に以下書き記してみた 今晩史のよからこの間を物識の長さい、人口地頭でのようには、一十七年の大皇の神賞を駆けてみやられて、人口地頭でのようには、人口地頭でのようには、一十七年の大皇の神賞・一十七年の大皇の神芸は、人口地頭でのようには、人口地頭でのようには、一十七年の一大皇の神武の神芸はあるが、人口地頭でのようには、一十七年の一大皇の神武の神芸はあるが、

二十歳以上のものが六十二人あつ「語と定めたが、一般の學者は五倍 してゐる。これによ

るべきものである。生物學における研究の到象だ

のである。これ即ち自然死でのである。これ即ち自然死を招く歯して、老妻の結果死を招く歯には愛化が起り、機能が減弱には愛化が正り、視症が減い、それに生物の長い。

ぎし、日々に蚕なり。 選化止まる) 感更道は適嬲自然なり、日々に撤

のみ、消磨するのみ、動くとある 鬱することあるも歪むのみ、狂・

迷聴するのみ。

官吏道なるものは「盟」にあい

ことうなく、高能を以て同守すべ

大周越南守に代ゆべからず。寛永に代ゆべからず、寛永惟澈を以て

魔水の御更あり、明治に明治の

政策發表に

に世を終するの道なり。國家は生

| 政策の配表に蓄つても、常義軍国||接たておまけに政府が公は、今後のとにいろめ扱かれた近田内開た。| 環力なる新聞に同の聞きを足入た|

つて修正するため、年後になられれる日になると、隆重の住文があ

たがら待つてるだと一般に密か怖え 「これはきつと相當なものが出る

せた新東は、ガラーへと二十六個 遊げ腰になって、百三十個盤に乗 そら來た―」とばかり、怒ち

官吏道の孫認識を小唆するもの に燃ふべからず、交、退費すべから 見たらざるべからず、過去の官吏 国恵あり、昭和の官吏は昭和の官

選出内閣の新鉄譜或策は、十七一の間向から見て極めて急速能だ、

極を凝視したる驚異現痕の呼びた

の道に何で新娘あられ。古今一貫

生保つことにあらず機嫌するにお のにあり、日々に建設するにあり

威張ることにあらず、共に動 あり、體裁を 作る ことにあ **遊聴を築らざるにあり、**

は、まさに非常なの様化であった。 は、まさに非常なの様化である。 なの問題については極めてあった。 なが、日本の歌語の動向も可成。 をかれく、は認めおばならぬ。 なに、まさに非常なる様化であった。 たけ、生活のは、とかれく、は認めおばならぬ。 なの問題については極めてあった。 ない、とかれく、は認めおばならぬ。 ない、とかれく、は認めおばならぬ。 ない、まない。 は、まさに非常なる様化であった。 は、まさに非常なる様化であった。 は、まさに非常なる様化であった。 は、まさに非常なる様化であった。 は、まさに非常なる様化であった。 ない。 は、まない。 は、ない。 は、な、。 は、な、。 は、な、。 は、な、。 は、と、。 は、な、。 は、な、。 は、な、。 は、な、。 は、

1 の経済調査成行の似について協議 1大明二十時から敬敬館を開き別地 1 七大明 1 大明國工部艦師では二十

| 近上 | 報令映画の伝に答る人の総心 | を見ると、催芽直後から四十万主 | 万至十一日間の處理に於て、十一年と報令映画の伝に答る人の総心 | を見ると、催芽直後から四十万主 | 万至十一日間の處理に於て、十一 | 造の處理期間と開花に徴との腕線| けが置とした結果によると、七日 | 禁機な作物 (髪の如き) には収量先ご小麥及びライ蒌につき、低 温と騰黙を買へ、水分を出來るだ | 新くてこの瑕象は吸るこ、三の 五十日間、低温(攝氏零度に近い 日間返理のものが出稿を配も低趣 珊珊間の長い耀増加を見てある。 るが、これを懸温區(毎日午期九長等を選定した結果に於ても、區(築業能生長のみをたすばかりであ 開花揺取は著しく促進され、気そる時は、結實作用としての出語、 した数をもつてその生存すべき一成務、懸譯、仁德、雄略の磁代天皇

せられた、文民間では武内治職か 三百歳であつたといはれ、享保八 は等しく百歳以上の御長語であり

生存器命は百五十歳となる

記録を辿ると、支那、太古の帝王 趣思はほど三百歳まで生きた、

明文二百五十歲、龍進二百歲、君百九十歲、達除大師二百八十歲、 人で合計二百十六人であつた、麹館部は男子四十六人、女子百七十齢部は男子四十六人、女子百七十

仮等の長器宣べなる截であらら



如きは古くから行はれてをりまか 法は各地に於て研究せられ質問の 染色方法も極々あるが次の方法の 答一覧近竹杯の蔵理加工方

サード・エキス二〇分、水二〇〇分の溶液中で四十分間高沸した 後頭クロム酸カリ温液に登削する。 無色にする場合はこの源礎 を二、三回極波なせば、い気無色 に染める暗メンニン酸一〇分か 一〇分の混合嵌に1万笠三時間 登着し水に石炭二分、水1〇〇 ウードニキス二〇分、水二な結果も良好なものと思ばれる

作物は低温に遭ふど 開花結實を促進

て行つた試験によっと、次のやうの二層素を異へる事が必要である。 廿三日より廿八日目底にて披露し 作物を遺歴によって良理すれば一般でも、総六十日で出席を見てあ一反應が思れる程度であり、 開花の促進には高温、魔路、陰影、六し、十日原、十五日殿では天々文に雲は短日性植物であるため、に五日路に於て明末な促進効果を 過しても、同に葬を抽出しないも るが、既る極難では都百十日を經一日陰に於て謂く明かな反應を見る 季いは暗黒が のみでなく、また國軍の温度及び 有効

をも増大するが、低温の国合は脱

厳、現代では明煕の李青宝が二百

一方仙人の國「古代支那」五十八處が最大の長龍衛で、百二

年、鯉、紫蘇、窓は百五十年山で あり、一體に動物では生殖力強く ふ、鬼は生後三十にして初めて



運動ニ

本村岳鼠 皇漢名詩の吟じ方

皇漢名詩の吟じ方

舞の解説と指導

本書は古き型を配し時代に連合せる「前原化・開いたものである。所見に前原地を開いたものである。所見に前原地を開いたものである。所見に対して前のである。

景東京三五二二五番 桑 文

「名スリ五十名綽名由來記に轉んだ人」見本讀物 ○日本の 動き 心殿令下の東京市を往く 不審を探る 是 英 時 腹 物 変 全集◆ の消載だ 山盛だ

物讀拔 首の榮杉大者義主府政無 君久生麻將關傳寶者氣人 譚 奇 島 金 黃 物 讀 險 胃 見孤の浪漂物讀劇悲 道士騎愛戀物讀愛戀 | 古野変歌初興を本 | 青春の氣浮ひ嫌女 | 漢 | 編物讀議抗の者讀 | 辞 士 紳 喝 骨 鋒士 紳喝骨 Section 1 一/三町室區橋本日市京東 (番五〇五四京東督振) 社物讀本日大

料画画メ Listance Library

箫覆 菓子 **社會式辞録等 (版大・京東)**

趣。

旅;

室ル虚楽子店ニアリ

(対線・十級)

兵頭警察部長の話

主は犠牲を忍び 事業を援けよ

ある(割い、同水荒地帯の駱鼬)

から九銭にまでの開税を掘へばい のたもので、何しろ銀本人は頭部 影響が出来なくなつたので戦 「魔弾」去る十二日午町三時中郊駐

買取價額は寧ろ地主に有利

極内に弱れてあるので常局もこれ

紅匪の密偵

要品面の南沿が輝を巡回中四名の一般所可内欧川河自御駅段表展観、

北の雲等なるか咸鬼派

剣道團體は咸南が連覇 は咸北壓倒的勝利

兩道警官の奪戦

無本品が、各種のでは、本本品が、各中央校長、整接事品が、各種の関連、は、大本式の配置、は、大本式の配置、が、大本式の配置、が、大本式の配置、が、大本式の配置、が、大本式の配置、が、大本式の配置、が、大本式の配置、が、大本式の配置、が、大本式の配置、が、大本式の配置、が、大本式の配置を</l

工口今冬頃の豫定

横地長津江水電取締役談

明朗公正

【清津】清津明空第二十九四記念】こ

式典と祝賀會舉行

飯粒を知さらといふので 者では活内各初等現技に

その他は一萬千里で翻事進一敗而する話でこの問道に上申中 咸中線を語る會

(同) 石田縣作 (同) 生物管理(同) 石田神稔 (同) 岩下和羊 河移(同)岩下和子(城小)勝田子轉了

【咸爽】本は成南支局主催の「咸|指導方針の指示があった

咸興府廳會議室で

來る廿八日に開く

線資源副近畿一行と打合せた

双好の一隊

十八日土曜の午後一時

「威夷」際に解衷地に潜在す

李教熙氏與德式

発行 氏の頚徳式を歴 発行

賞奴好の一勝段八十名は十七日中

脳る館」は二十一日階成し

とけることになってみる質したところ表して併さり(用り・し)今秋までに長連江水電の 四百匁を膨足したので嚴重監求し

たところ果して前記四人組の一人

長津江水電から

秋までに送電開始

なることも明つたので簡単新署段 と領明、他の一味は京春に耐伏中

公司にも改取する記述である、な ほ同社の増資は電力統細により近

請負に改 議員の强硬反對で つひに邑營案撤回

進し得るか」の手段方法まで考

『し「如何にせば目的の貫磁を

する有意識な個したらしめたい

名を中心として、道、所、商職

常局も腹壁が門に耐意、際いて屋 橋前戦の起職で、上水道脈水に對

> では去る十七日から三日間悪山凸 [惠山智]山影州東西監督事務所

> > 長忠線の一

神用意は

今 !

....

學期

の

第二般期間の弦楽或液(*jut去一書で観行した 猫は、露見【威興】版内一館を去る十六日午後、

の犠牲となつた海豚五食館の起情に置。」質疑剤ではコーニ六事性

街の膨張に伴つ

艮民を手先に少量主義で

新戦航

日に六七十

人も鮮内潜入

部の斜面地帯に着目し

麒麟に翻査すると共に主義の官僚の鮮瀬郡路に貼れ月謝整備官認の

紅腿の便衣密低は盛んに對应各地。として各部落を捜査の結果然川洞

旅館在壽良方に前夜四人連の投宿

會寧税關手を焼

に努めてゐるが彼等は原地在住の

ては確々数値の方法さへ謎じてと

軍部の諒解を求

北部の薩城閣から八乙川の一番に 如く住宅街の伸びる除地は座かに 局では顕を微ましてゐる、脱穀の

【曹麗】學授退各議費の改選は来

とが退命合

都計工事の完成を急ぐ羅津

解氷と共に大混雑

十八日と決定、有照著名

四日午期十時

修業式を二十五日何れも午期十部川普通県校・卒業式を二十三 北海小學校二十日午後二時か

(二三名)十八日二九名)十八日富和曹(二八九名)十八日富和曹(七九名)開小學(七五名)開小學 六百六十頁の大雑誌

た契論が認過級は、契約を置け

學議補選

2月四日までの一週間である 異数の拔擢

い雑誌は二度と得られませんこんなに面白い、こんなに安面白い、こんなに安

生は男子四十三二十日午町十時

百五名女子三十年前十時から単

早いが勝!!

二十日中即十時四三十六名,或 第四三十六名,或 第四三十六名,或 第四三十六名,或 第四三十二名,或 10年級权益田直三郡 10年级权益出直三郡 10年级权益之中。10年级权益之中。10年级权益之中。10年级权益之中。10年级权益之中。10年级权益之一。10年级权益之一。10年级权益之一。10年级权益之一。10年级权益之一。10年级权益之一。10年级权益之一。10年级权益之一,10年级权益之一,10年级权益之一,10年级权益之一,10年级人立一个人立一个人,10年级人立一个人,10年级人立一个人,10年级人立一个人,10年级人之一,10年级人人一,10年级人人,10年级人人人,10年级人人人,10年级人人人,10年级人人人,10年级人,10年级人人,10年级人人,10年级人人,10年级人人,10年级人,10年级人,10年级人,10年级人,10年级人,10年级人,10年级人,10年级人,10年级人,10年级人,10年级人,10年级人,10年级人,10年级人,10年级人,10年级人,10

山で音が岩長と 兵分 は氏をもつて 七册で只。壹圓卅錢一投賣大量品前

武德會支部

本所被兵分派長長則出直美少佐

最近手紙大辞典

青年演说辞典 いろはら大辞典 三人名人哈纳姓典

日常便利辞典 恋爱文集話典

業式















京都市等町總小路

(4)

堂

瑞

安防師、▲殿 道知事賞) ▲林

れて朝料暗鈴木公園氏が立候師

能に建設事が所有法に推されて出 機いて削出長衛艦昇市氏が歯

村四七名、高等 安い・面自い!

大評判の

添晴い責行 臨時増刊

急書店へお出掛け下さい!未だ御鹭にならぬ方は、大至

香灣物 賞を四種なり

安い。定便一十一钱

觀景な大雄

身を励めて豊穣ひし、十三人県

名な古跡で恣趣の難に遵つて帰腹 の製造を背に相された基際は有

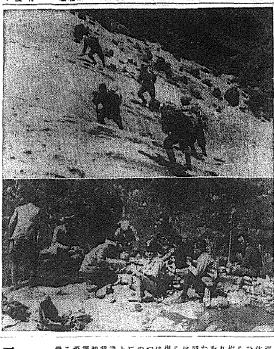
元をあけられた古典が解ましく

一、孫昭であった。入賞遺は左め

過去を銀行器では出水本が役職の割十一時から後出公園堂で優質技 審章報告についで版本大印段を選び、

然問題問題是、土地理難以事、土





影ま行び同市時取留した、要音書があり選ば投票があり選ば投票があり評面長の告がありで記述語があって記述語が、東京投票があり評面長の一巻があり選ば投票があり評価長の

▲新村里▲下往十里近院地▲沙▲新州里大嶼洞議園宮▲東永里

統督の種短(新司邑

白象街を練る

大釜山所内の各宗佛教協館では近一出三氏を開始に十島府井を館長と大釜山所内の各宗佛教協館では近一土縄知事と菩推源太郎、道間居太「釜山」心田場路史前に乗り出し「土縄知事と菩推源太郎、道間居太 釜山内鮮寺院聯合て 佛教興隆繪卷展く 図三氏を閉路に土量暦年を前長と 境、離世年等林原地利用の海湖、北京東京 国家を留るため変に体別地利用の遺林、生徒をなさしめ更に体別地利用の遺林、生徒を致せでは、要校様の遺林、生徒を致せては、要校様の遺林、生徒を変しため変は悪の実活を

朝新釜山支

する奉戦資を組織し四月五日より

|関抗] 男岩画盧融資ご名の播訳

清州の泥的

日これが起間式を駆けた

日まで彼徳法要を組し避は午後一 めること」なり四丙亜町路川近く 山秀胼胝を布数脈として駐在せし に行政所を新設し京城本部から中 に布敦所を構え十八日からニ十四 |清州||西本願寺では今四、※州 清州の青年

ちかく送っ

時から武安、夜は七時から講演前して去る十二日來、二十数名を検収 一衆出し市内暗無界限に一番手入れ 後の八名は常智麟征権控拠としてを築事いづれも假名事、三十歳前 が全壁は、李洋茂、弘文徹、爰供、公室は、李洋茂、弘英、田葵し厳重取調べ中であつた 近く清州法院支藤椒事分局へ渡局 **催、帰東晋、安羅ボ、鄭興圭、洪** 【満州】満州者では蟠腰の仮範に 1 に扱る技術制定式をも銀行、卒業に任る技術制定式をも銀行、卒業に住体科(第二回)六名で受賞者は「東方」の

で態金總額は数百國に上るらしい 当町を根據として現金または敗伐 を貼け藤直諸談を行つてゐたもの いれること、なつた、彼等は本年 月以來、十数四に亘り溜水町石 忠北の桑の日 Bから暴行、受賞者は次の通り 馬山高等女母校 二十月年間よ

新 エデ・山口田親子、大郎カッテム (福青賞 岩田寛子、大郎カッテン (本明実美和、橋本浦子、田中チン (本田東子、山口田親子、大郎カッテン・) コーキュー 十七回)男子四十六名、女子三十十七回)男子十名、女子十五名、柳常科(二十五回)の銀行、高等科(第二十五回) 郡、土居部子、高波晋、中村了 口田田銀子、江口時子、孫本美 「愛聞解人意賞 田所寛久惠。山

では四月上旬に肥増青理を似版せ の日を資施し特に養養家集験部落 十七日まで三日間、道内一齊に最

苗木でつさり積み 春。釜山に1

開かれた、直ちに柳原統事の論哲」ら山林苗の松、タルミ、様にいた 国際監視事候神経破事、認能、駆」のつくじ、さくら、紅葉などを切っ内、描まれた歯水の山) 「富要起に於て松本栽神技、保料、関語」ら陸遠げされる果歯苗木、脈合用。かを描き出してゐる(脳真造山構・近に於て松本栽神技、保料、関語」ら陸遠げされる果歯苗木、脈合用。かを描き出してゐる(脳真造山構・一旦実態数士にからる意見事的の制 太宰、 堀の四線渡士立館のもとに め質路圏のブラタナス、ボブラか 日栗麻痺士にからを計算機の数(1会山)「明候に普めいてきた館(苗木の部盤は既に超貨を能蔵なく)して磐米、二十四日を下し銀廊(大印)十九日午後1 暗字から等)

一日續きの

「川島等女製校 二十三百字的 「川島等女製校 二十三百字的

學校卒業式

釜山郊外は

検査で轉手古舞ひ

一日午後五時から上棟式を懸行す

因と同丁車は五月下がに過ご

上 汗流す 火 旺 山 登攀

電の作所製造11十三軒で昨秋、並「六銭の収入を得るに至つたので耐・理論に出戦して提出商品製糸清析。て自作義田となるものであるけ十三町形の小作義田を制定し強。四頭九十八銭、一枚貫す九圓九十十十八日から三日間、世界経済手が、た縁は川分にし値変後十五年にし去る九年に乙間関連製造地域を設、「日本均二十圓・一枚貫す九圓九十十十八日から三日間、世界経済手が、た縁は川分にし値変後十五年にし去る九年に乙間関連製造地域を設、「日本均二十圓・一枚電子・一枚電子・一枚電子・一枚電子・一枚電子・一枚電子・一枚電子・ たっちゅうけん しょうけんしょう はいちゅうじょうしょうしょう というまん はいちゅうじょうしょうしょうしょう しょうけんけい カース・スト はいちゅうじょうしょう

ので恐北道質量では十一年度に庭

● 「は、」と、「保護計算」「音」 を観察家が資源したが「家は答力とので思邦連奪属では十一年度に重しる。 関に乙種地域に現金の支出ので思邦連奪属では十一年度に重しる。

詐欺事件

一ケ年半の 懲役を求刑

養蠶地區增設

既設地の好成績に刺戟され 陰城に養蠶熱擡頭

地方は非常な刺繍を学行数登場が「現場立置りた。程明したが四月」数子はその考心に認識し、の響味地方は非常な刺繍を学行数登場が、「現場立置りた。提問したが四月」数子はその考心に認識し、の響味地方は非常な刺繍を学行数登場が「現場立置りた。提問したが四月」数子はその考心に認識し、の響味

新観光ルートを拓く

ロープに縋り谷底下に膽を冷す

固城署に 神仙建設 金山の廿一日の野学県原景は朝か 【金山】徳晴と腹かさに思まれた

に入り間被事は一年宇玄末雅、モーるまで文字通りの苗木の面積であ

個を御分けして跳い十九日に赤癬(法院を受み、平和な一日であつた 打部長が上城、朝鮮神宮から御神 製造、大鸚町知恩寺英郎各寺殿で でこの程動制が出来上つたので是一般は、見重の起始間のほか特別高層出等の援助があり登録の造前「にあたるので第一小學校では物」 内に轉制建設を記載、併器、请水山山紀郷の開腹が名く府内では接近、国職」領欧西城襲総署長に選続「丘影外散步の人出と地方からの登

間く終了した、「親決等談しは来る」 6半點隊化の大きな動きの一つで 総語士も無罪論を進め午後十一時 さである、これも選ましくも動か 四時間派に亘つて破頭(昭無罪)は一色で登画する苗木の観査に の後を受けまつ武尾壁要士が起ちり、且下釜山が鯛の植物機能官は

医協議、大いで都、太岩、畑の三<u>|</u>|位設され当日不賦不休のいそがし

清州の豫算

【潤州】 邑では二十五日から三日 | 學校小使として帰聞中十二国 躍五萬圓の増加 あすから邑會開く

▲十年度蔵入出樓原道加▲不動『空夜でオーベー音宛を窃取した忠』の窓大路幕で職寮は左の通り──「市内に入り込み帯閣長住事所です」 つたが十一年度異異領は荷十一萬一郷よべき現金十二国を祀されて柳 間の設定で回館を明さ、十一年度一銭を造取、更に本年一月工陸校長 展開総その他を網議することにな 座貿却處分▲積立金線入使用▲ 和五萬國間の未曾有「師賢道、解雇されるで今度は清州 北押山都側角面投資里生れ住民不一時から第 から内付内秀縣長に米代として支

通り宮内裁判長から黙役一年六月

四本願寺

から舉行・都常科(第三回)大邱師範級校(は二十日午後 A、短期繼續科七十八八名、繼續科(第八回

の判決高度があった

アニマザを常時連用するにあり。 出せる血管ホルモンにして、その 驗的試練により承認せらる。 類分が爽快に赴くことは多年の實 どの憂鬱なる初老期症狀も消退し 安定し、頭重、不眠、僧念、眩暈な 應用後日ならずして徐々に血壓は アニマザは血管内膜及中膜より抽 彼の一時的に血腫のみを

か? 刺戟性食物、 興奮性飲料を節し然らば、血管硬化は如何にして豫防する けること、藥物としては血管ホルモン劑 淡白ならしめ、身心の過労と緊張とを避 ならしむる食物の撮取を减じて血流を 鳥獣肉の如き蛋白質にして、 管ホルモン 血液を粘稠



あるものに於ても、心臓の機能低下が死期を早め加の現象にあり、又死亡の直接原因が他の疾病に血管・心臓系の早期障碍による死亡率が急激に増 たる場合も極めて多きてとは常に聞くところ。

最近に於ける、壯年及老年者の死亡統計によれば **砂砂に原因する結果症狀に外ならず。**

雅環の圓滑を缺き、血 壓 は 昻 進し、延いては脳 **砂直して弾力乏しく、従つて血管の使命たる血液**

實にこの血管の硬化にして、彼の怖るべき 壯年及老年期に入りて最も警戒を要するは 腦溢血、狭心症、慢性腎臓炎等も、血管の 脊驤、心驤等に種々の障碍を惹起するに至る。

作集合地の大邱瞬間に各自登山其 十二名で先づ年前六時までに指

信れた天氣も一點の事もない。雨機碟との測候所の複数で築態な削日の天候から舞り一時

のサー日決行した・目的地は変し山田部別立第一回登山は軍形の

と称一里、深流湖くる路山神突元」と風化し蓋づる處、蓋行處解胎ね」か岩石勝込の危険に青やかされな

本発行地上めることとなつた。新一合すこと勝しい、一行は光づ山の「を聴気し山山町以の現代学を設切してこの眼線の分響 (在陸に呼ば落ちる線など異に膨を・山徹東江など振に置む壁大な景観として神臓を想はしめ行行のコー 路も大利石が唸りを設して干仞の がら至らじて頂上に繋が続り即の

かを極め次解製能山に向つて下行 西面の断屈に関し東面の傾斜は

記念植樹日前後道民總立ち

要状態動を實施し要な思想の需及「で居民有志・五百名を信存して開館」 というとすれば、「清州」思北道では三日の記さ価」ののでは、「日午後一時中から公開館」を表彰されてよる。 資産を超るため繋状型の摂向腫薬。大い少女動脈筋の管理出版があつ意思と支配値と一方に出心症動。からの配置い題の後も南部致造と「教学解析すずします」 物楽器註または 医師を 随し 医く 一起 解に次いで 東京大 形及内 野各地 府判匹條府會副前長、立石館頭の 忠北の効果的施設

て盛電推に午後三時取録した 馬岩面議の 調査したり機堪能に乗り出してる しめることになったて蘇黎後に歴主を訪ねその狀況を では四月上地に脚端が 大邱普校

會を組織

ゐるので本年は一届

これを過化す るが各方面から大いに歓迎されて 【清州】郡では昨年中、北一面内

金泉高女校

人の老幼はその血管に觸れて見れば分る。

老年病の多くは血管病

柔軟にして彈力性を有するに反し、老人の血管は云はる、即ち若人の血管は新らしきゴム管の如く

から

紫癜の保健剤

觀賞樹や山林苗が日毎に殺到 学校の校会版に設備会は来る二十一(金米)新発中の金果公立高等な 廿五日上東元

求---二五五

版大·店商邊田·京東

山 全部三ヶ年連門は近人賞カンブ油 公 養賞 ― 松岡地太 会賞 ― 松岡地太 の 養質 ― 松岡地太 の 新選近事主が図書本、優質金重 の 新選近事主が図書本、優質金重 の 新選近事主が図書本、優質金重 の 新選近事主が図書本、優質金重

奥造郡主持林威州,倒冀分流域率實現山村首立總林鹽亞郡主西 田磯一

慶尙南北聯合清酒品評會

餐賞授與式舉行 大郎、問澤葵大邱附續被奏作会由意大、同正勝河東都橫湖正衛門與路間湖定

納稅優良部洛表彰

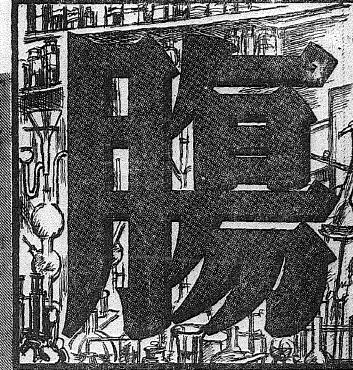
日朝寄聞ノタル)侵等賞総山府

變を阻止し生理的に極め る、所調血壓低下劑と異 なる反動的昂進を結果す 低下せしめて却つて急激

むるのが 本 翔の 特長とす て自然に血壓を降下せし 血管及心臓の早期硬

80

三〇經—二個九十個



爾汀摩尔

患 か 難 治

腸

疾

눖 水る 原因 はっ

なるだけ、障碍も決して單純でなく、種々の型や原 當然であつて、一度膓疾患に罹れば、一生膓で苦勞 な、單純た虚置を以てしては容易に解決しないのは 水の漏る個所にはセメントを塗つて防ぐといふ様 症療法の如く、 因が錯綜して環はれるのを常とするから、従來の對 するといふ原因は弦にあったのであるる。 大な器管であつて、その生理機能が複雑多岐 管は全長三十呎、面積八千平方糎に達する長 下水管が閊えたからこれを押出し、

メチニコフ博士の

唱道せる乳酸療法

に接息する有益なる細菌の活動によって栄養吸收、 管の生理を細菌學的に検討した結果、その中るに近代細菌學の泰斗メチニコフ博士は、膓

に有害なる されると同時 変便排泄等の 作用が顕滑に この事實 を發見した 曲を示すのは、全長示すもので夥しい欝 上闘は賠償の配置を 、米を有する小鵬 **楼行部**、下行部、 脇である。 小脇 大臨は盲脇に始 で、左下部から S字狀部に分れ まり首脇に検言 は胃の幽門に始 有する部分は大 起り結腸膨隆を

末粉

り、 毒碍、 種の 障 種 の 障 種

活動の

細菌の

び及

妻等の 老、老

因をな

されてある。

直脇は小脇背後に匿 つてはS字版部及び

門に終る。上窗にあ、正

あつて、發見後數年ならずして我國薬品中第一 光明を點する、本邦唯一の薬用活性へーフエ菌劑で 界的薬剤だからである。 の生産高を有し、海外市場にまで信用を博せる、 「わかもと」が殆ど行詰まつてゐた膓治療界に て、まづ第一に「わかもと」を處方するの 今經驗ある醫師が、膓疾患の諸症狀に對し

樂劑として蓄ふれば、間もたく効力を失ふといふめて弱く、乾燥狀態に置けば直ちに死滅し、これを 療法の最大缺點は、乳酸菌そのものゝ生活力はきは

きとである。

迭であり、一

嶽なる乳酸菌を與へて有害菌を抑へ、腸内の殺菌、

て、人體に有

年化を闘るのがメチェコフ博士の唱道した乳酸菌療

時治療界を風靡したのであるが、この

人體内に生活を開始し

飲食物中毒及び急性

病原菌と戦ふヘーフェ国

變ぜず、しかもこれが一度人體内に入るや、 談でなく、乾燥狀態に置けば却つて永年その効果を る。ヘーフエ菌の生活力の强制さは乳酸菌と同日の の協力によつて、脇管の組織細胞に活力を與へて、 その機能を根本的に強化するのである。 素の吸着、血液の海化を闘る許りてなく、生物界隨 し、强力なる乳酸酵素を發生し、有害菌の模滅、毒 と體水分とにより、俄然として自己の生活を開始 一といはれる豊富なるビタミン、ホルモン性物質等 をもたらしたのは、ヘーフエ菌劑の發見であの不便を除去して、腸治療界に革別的の進步 體溫

下痢を續け、全く清浄となるをまつきに興へれば、胃腸内に有害物が残

「わかもと」の大量(海峡の

至売(20)を三三十分間置

て、液態せる腸管細胞に存する間は吐瀉あるひは

oひは急性膓カタル等の場とあるかといふに決してさ と姓疾患にのみ有効であつ

後撃臨劑を與へ、少くとも滿一日の就床の必要なく、從來のヒマシ油な

普通食に移るといふ方法に 比すれ

ば眞に隔世の感がある。 絕食後漸次流動食より、

傷の組織を**強健化して**

再

Œ Ø

憂

v な 就床の必要なく、従來のヒマシ油を與へて膓內容を排出し、ぎ、體力の維持を闘るから、早期に手當をすれば、殆ど患者は活力を與へ、直ちに吸收可能なる榮養素を締給して、嚢弱を防

うてはない。例へば飲食物中毒ある。

らば「わかもと」は、所謂協

腸カタルに對する効!

下痢も便秘も同一剤にて

消退する病原治

處置を必要としたので して、従來は全く異る は全く相反する障碍と 粗織に活力を興ふるへ らぬから、脇管の根本 が衰弱したものに他な 異常を生じ、その機能 碍もその原因を尋ねれ あるが、この二つの障 處置を要せず、 ば、下痢も便秘も異る は、いづれも膓組織に ーフェ 菌療法によれ

て消退するのは當然で

会局表情にて販賣するも、直接装賣元より差難を望 東京市芝 公園 国大十名

發賣工

價 **錠剛三百錠入**

瘕

例へば下痢と便秘と

收、糞便排泄を囮滑にする許りでなく、殺菌作用により血液をく、無力あるひは衰弱せる腐管の細胞を豊韓強化して、榮養吸メチニコフ博士も説く所であるが、「わかもと」は前述の如メ 神經障碍、高血胀等を起して早老短命を免かれざるは、旣に するといふ惧れなく、永續しての効果を保つを特色とする。 **薬劑の如く、一時症狀消退するも服用を中止すれば忽ち再發浄化し、すべての膓疾患を頻因より驅逐するから、他の化學** 別が他とに代用 の帰弱は、榮養不良、貧血、衰弱等を来すのみならず、屢來賜官は、全身に榮養を給與すべき根幹であれば、膓管 雑なして

の雑娘!る比較試驗に微してもと効果に於ては多次の影响あるとは主ないまでは、製法的では、製法的では、製法の多なが、製造ののでは、大きなの影響を表している。 田して、ヘーフェ副 中る前は歩くない。 これを『わかもと』 これを『わかもと』 これを『かかもと』 これを『かかもと』 これを『かかもと』 これを『かかもと』

適 症 應 * 開 慢 惫 熟、由經表的解文・即告校・獨告校・勘任校・獨培校・郡任校・獨培校・勘 膓 褚 崔

銋 產婦衰弱 新人工祭養見・魅力クル消化不良・経度・治療・虚弱 観 幼見 傷・食志不振・便秘之下胃アトニー・胃横葉・胃胃臨カタル・胃酸過ラル 乳汁分油不足、貼だの紫 養つはり、産 酢 産後の食 餅、 劳老豪 、芳園、エネルギー衛给

旦下の半島は一萬人に産婆さんが一人

の産婆役

足の毎日の如く萬引を聞いては人

から府内各デバート取門に鞭堪と

職と相談して不信生思想の犠牲と一様な有様である。そこで心節語で

地方は七平方里に一人と云ふ歌の一をたてゝゐる の大部分は都僧に集中され、殿村一らしい赤ちゃんが澤山産れる武忠 |関して九人の別合)で、おらにそ | 組合の手で産婆さんを雇び、可じ て一人の 翔台(内地は 一萬人 に りの重複役となって補助金を貼へ 組合を作り、これに本府が文字通

会師に居る確認さん。那然既は二部落を断位として出産。た事を自白、頭に去る二月上の頃のの 産業の歌謡の動提として誤目の一 日三週三中井のデバートで裏引し

身を持ちくづす殿因となり今では 生態のモヒに慰められてゐたのが 恋大臣李架氏の長男と生れ人々 に襲動もならず令弟英氏が受ある認の能となつてゐたが妾の子 話をなして以来なしい銀持ち

> ◆電流 東京より宗家東作二門の動学師辞作が直接に出張して翻字製作の質詢をお目にかけ ◆主なる出品物 各種各様の参考品を蒐集して展開するの外、創資部を設けて釣具一式

B

四遮信局政岩本星氏で陣中の不便

を解く窓じて客磨したものである

廿七日に葬儀

数一千百四十回二十錢を横倒し、

脱海を原却して行方を駆ました事

帳簿を調べると、昨年の末納治療 を呼ぎしたので、不識に思い際記 阳城湖月町二九四唐星病院野批崔

果して費込み

Scar (C

効公告

東京日本勧業銀行構內

中心大計画に対するとなった。

鐵道

逃げた會計係

金浦事件送局

概
握された金浦郡
設
質
員
温
版
事
中

具モヒに狂難して

むた事を誤なが に自日、何同人は削穀國時代の

【永登湘智語】去る六日金川海に

十五歳の少年泥棒

經道局では原正で職で郊外の難場いよ!)前と川の釣シーズン――

ら青山原場で開武に使り軽行され យは、来る二十七日午後一時半か 者則教育認監護逐延太郎大将の第一

能症を設長は教育器局部本部一教育器局部附別過大佐に決定した

少將、陸軍省整備局長山脇少將、

武力、二十三日午間十時派交響党に行けれ、卒業院哲量學哲学施文

盛大なる卒業式

等の提奨式があり、石原校長の訓

釣り場案内圖

「東京田話」二・二六事性の機能

青山齋場で

内地圏を作製する計画中であるが 収はじめ全部都部地近郊の動場窓 に押し出す太公皇が多いので、

頁金屬怪流か

援中に金時計を所持

人、メタル二面を鑑んで勝手口か ら出る處を舊家の解波土堋内氏に 一十二日午後二時四菱海道生れ催 一間その他金世間ばか 間職隊では直ちに結城外先際守備一兵隊で割済の結果、京城新集副三に出頭、隈名で禅自本を寄贈した一隊に建路したが、右隈省の七は越

りを風出数包みを抱へて逃げるで、はないかと組及してある。 釧路智具が健晃調べると、京城府 外解浦二〇〇李七版(*5)--假名--

りの質乱數枚持つて居り、少年で 中に遺師

議語年六十名は廿日東司令部を訪 | 合中企業人、山下號・津田號・段 登部局では繁発真部部議習終了後 | 寅寅に参加した軍犬は京日號、河

見學の警官感歎す

一次 なない方ではない方で

秦內

牙日號が活躍

間、通信組の俯瞰者柳田少佐の融議部件六十名は廿日車両令那を訪 明で朝鮮整備大規醇を見撃、頬の

野球チームを形どる

歌してゐる時一人冷い經路につな」れな姿に帯しい。例を流してゐる人

がある、廿二日区京城湖路の市通

米爵 4 今弟に渡つて

の男、萬引

神百本を寄贈

博多築港記念博は

で抱へた包みは鉛曲・八喘等高級一去る十九日龍山步兵第七十八聯隊

三日団施江の龍鷹等削版圧下に貸 人が發見、船の中には靴のオーバ 「帽子、脱三腕へられた靴が仮 が認者してあるのを附近の 早くも漢江に死魔

2新地立地に強明け、花の四月か | 各方面からまで手蹴く架めた縁綱 | 蹴もあり、北九州の春一しほ賑ふ(帰戦)前1 は、いよく | 廿五日か | 誰をはじめ照針、台域、満洲など | てゐる、なほ僧期中は賞養選抜對 四日本の雄都賑は 歴巻として 家童を祝つ 繁く通し 自殺の朋後も同僚と其。常た美男子で展立カフェー等に足 朗な歴覚として想まれてゐたが非 商業出身、昭和九年向店に入り明 二丁目室側版を専田司三許在(べると、投身自設の上に原城本 いれてゐた、龍山岩で身都を 一般名一と何つた、同君は豊田

花の四月から五月へかけて

その内容充質は配陽市が自慢するを、あらゆる部門に良つて陳列し

(博名築港博の曹操作門)

抱いて死の途についたものらしい 歩き局限と別れて後極めた個みを

間間市が主催する「博多楽港記念」もとより、國防語、参考館、産業

|多薬造大工事の完成を祝賀して | て陸海軍から出品する科學兵器は | 博覧館の

京城、担里間定脚郵便飛行を行つ

され合調量部、極用無理権は重視しり、死を以つて便能を返せんと期、縁の連絡の理に當つた、これと知

れてある三輪和三郎整成は、京 住民から近来の名者長として規す

は龍虎蘭といふを組織し戴貴鵬その時不良朝鮮人金組玉の一味

も期勢配業を授與されるに至った

を企てたが、書間の機敢な活躍「動で京敬三坂通に敵伏してゐるこ」安定を謂ると共に失戦せんとした達成しようといふ恐るべきテロ。謂で京敬三坂通に敵伏してゐるこ。安定を謂ると共に失戦を心とした。曹に殺人を抵御して人心のめ、谓眞に衆じて破孽の野望を一げつけ逃亡したが、蓄量必死の話。たり、連に殺人を抵御して人心のめ、谓眞に衆じて破孽の野望を一げつけ逃亡したが、蓄量必死の話

ある三輪響部に拠重主任の命がく 危機に陥ったのである、此の秋年

せられ騒が當局ははからずも重人

歴術・柔道三版の田弓旅事は射数。運の重起大なるに恋く決する所あったが、所撑した拳銃を駆けして「別の知避に蹴すると兆に自己の顧問奪助の指揮する一覧が澎湃に向「が躱せられたのだ、三論舞蹈は上

とをつきとめ、同月十七日早曜今、薯奈の威官を回復すべき風大使命

當時京城を戦慄さした金相玉

章即勞功察營

勲殊る語物が

度までも党監犯人を取逃した當局

に耐してはがら (一の非難があび

不安に選ばれた全府民は動揺し二

今は元山署長の三輪警視

大正八年の鹽墁の熊波米だ全く

一海の味から京城通義両金栗仁宛のた、確かに根場に遺留された任上 したのであつたが、當時極端の手一つた犯人は直ちに所得の拳銃をふ 彈は関々緊部の身邊に飛来したが、最つまる婆歯な場面を展開し、流 こそぎに連加して重大使命を完全げたのだが、引動き機繁一味を根 た元兄並は玉はあへなく配期を塗って即れし、茲に一世を懲骸させ て犯人金利玉はつひに流彈にあた 影系の三統語部は設後まで一歩も

以来三輪舞型の名は雷の如く傳は もつて、水道に心底に鑑定されり、所以からは感謝と尊敬の念を

今春流行界の話題!

一日午前六時年的京城府外號行

米俵を盗む

梅平郡当田面村(元)――腹名―・ボケ

來青閣で(海野戦歌門)

来る四月一日から更に同地間飛行 調中の旗航空事業曾世を削立し、 に上つて底谷の極速をも開始する一間せれ遊遊飲料です。

九月師道船所で起工した姉妹船は大三と名づけられた、船して去る 診船は第一船が正月二十四日進水 式を行ふが、二十三百副田郷相よ [東京電話] 緑道。日の新説開発地 金剛丸と命名

日確理済船によさはしい「男安丸 と総名することになった 行体秘書で は一般には、

| 資金中立|| 収名||・外十六名を一綱|| 水 黒張三百風と共に銀路町の軸|| 地震・ 一綱|| で 化低階 映明駅中を銀路を置か 郷 || 廿三日夕六時」京城慶盃嗣杲氏宅 地所附き賣貸家

打蔵に概楽した、一味は何れも知 、市内二個質力 地人二級ルン 地人二級ルン 地人二級ルン 地人二級ルン 地人二級ルン 地人二級ルン 地人二級ルン 前の原とで

村木時計店人事係 (交兄同伴生意来) 東(高等料) (交兄同伴生意来 (日本事項より 日より始む) 日より始む)

少年を東大門器践が調べると

鮮二 信 託 株式

社

一島富槌 候に付取今無別 に付取今無別 が連発を表して がある。 和開意 一年三月廿

振替京城二九七·電話本局四0五四京 城 府南 大門 通一丁目百二十二

文動儀病氣療養中ノ處薬石効 ナク本日午前五時五分死去致 候ニ付此段御通知申上候 追テ三月二十五日午後四時三十分ョ 追デ三月二十五日午後四時三十分ョ 場所手下ラ御供物ノ儀へ固ク御解 と明五時マデ南山町東本願寺三次テ は明上候 場中上候 場中上候 場中上候 場中上候 場中上候 場中上候

豊治磨郎一德夫明質

魔友 總親 嗣城 代人 代戚 子腳 **有伊谷矢松今田植植**螺 賀森 鍋原井中野野八 光明喜三純清秀

は昔日見富がつきません ねは素軟っしい」と意販してみた。 おりはありません、無数の顧因、する質詢に任業ではは一番に「こ 等りはありません。無数の顧因、する質詢に任業ではほどが語轍版 する質詢に任業では収入で報と確認に進火が語轍 が、後は日頃とても快流な青。用火を使用する講演を開いたが、

曾設立の選回と将来警察方面に軍 で軍は随那技での健院はから戦成の国際部をはじめ、軍事大訓練所

れは素明らしい」と意義してゐた。午町三時頃、 年前三時頃、一味の幕れ家、高端 佐等は単級ビエボテしムニボー 山場に取ぐよ大々的組織の少年街 上新モクバルテ年州容禄「『正祖に取ぐよ大々的組織の少年街」上新モクバルテ年州容禄「『正祖山書市法縣は数日來京珠南大門 都次と面新空里源雲に方を製、他山書市法縣は数日來京珠南大門 上所モクバルテ事性器根 なり

復等は組織を打場チームと同様に 名…外九名の少年泥権を連捕した 第三部氏宅に使入、手提金郎か)

覗つてゐたもので被黙盛は日下物 しただけでも州五性、町三十四 女中角 製家

十回目の郵便飛行は廿四日

慎飛行士の計畫進む

拿见

株式會社・ 昭十一年 頁二十三 朝司 鮮 殖 產 銀 行

株式會肚子1年月二十 行

朝鮮貯蓄銀

野社等原子音 會

二研孔 四数學 天光遊

植野家葬儀御用達館本原の四四二番

なで、風し想でなくちや駄目な

野上はから言って、途中電車の

もしやりこという期荷を、四美は 教目だ)とは、思ってあても、

何程の報りもなかつた。気の所爲

廢物利用と子供

本紙一萬號記念三千團懸賞一等當選 (101)

廿四日番組

動 能主いろ/ ハの膨明、工夫が行は二一、、一動 能主いろ/ ハの膨明、工夫が行は二一、、一つのが重徴なものに生れ総つて家庭

同六時五五分(車)カレントトビ 田澤 飛錐 遅羅の姿

指語(七) 古孫 張延智能議留 (二十五) (京) 棚の終選三数 (二十五) 古孫 張彦 (三十五) 古孫 大造

一放送



同二時(東)婦人の時間

前

は ť

一罐・五十鍵

にまで引下げてありますにあ営分の間新鮮純良乳にの営分の間新鮮純良乳はでありますがら、姿変度の粉糖がら、変変度の粉糖がら、変変し可消化のが、変換している。

明治製菓株式 會 社

濇

•御帽子に・オクタイに・ハンカチに

鍵本クツチ頂丹

れない様に 関連を 大ない様に 大ない様に

で頭痛を忘れる ¥ 35 38 55 1.20 2.00 3.00

月經不順 憂鬱症

四肢冷感 親力減退 肩疑り 發汗 並上 妄勞 頭痛 耳鳴 腰痛 下腹痛 前修道區東市阪大 店商衞兵長田武譜 元 赍 褒 町本市京東 店商春天新西小野 出現代東盟 町宮大市崎川 所究**研究器 蘇**社國帝 武 五 造 显

注射液 「「茶香、千、「高、素蔥、三米蔥 単作あり。 (五百單位) 10錠(1圓雲) 差の変(1圓宝) 煙器(百單位) 10錠(1圓雲) 差の錠(1圓宝) (20酸(1圓宝) 差の錠(1圓電)

\$6-366(O)

呂

木

月經調整と 女性健康增進

乳汁の分泌

足にも賞用

せら

3

頭痛で

阳晶性 「卵胞ホルモン劑」